

様式第4（第5条関係）
（その1）

令和7年4月8日

設楽町議会議長

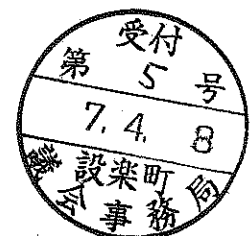
設楽町議会議員

氏 名 原田 純子

令和6年度 政務活動費収支報告について

設楽町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり

令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。



(その2)

令和6年度政務活動費収支報告書

氏 名 原 田 純 子

1 収入

政務活動費 120,000 円

2 支出

科目	金額	備 考
調査研究費	20,800円	別紙内訳のとおり
研修費		
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
合計	20,800円	

3 残額

99,200円 /

- (注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。
2 領収書又はこれに準ずる書類を添付する。

支払証明書

整理 番号	支払年月日	政務活動費 充当額	支払先	経費 項目	経費内容	備考
1	6.11.19	5,550	関谷醸造	調査研究	視察先お土産代	計 62,228円 7人で按分 8,890円≒ 8,800円
	6.11.20	5,800	ネクスコ中日本	:	高速代金	
	6.11.20	610	ネクスコ中日本	:	高速代金	
	6.11.21	1,000	福井マンテンホテル	:	駐車場代金	
	6.11.21	7,300	J A 白鳥	:	ガソリン代	
	6.11.21	4,910	ネクスコ中日本	:	高速代金	
	6.11.22	2,958	J A 愛知東	:	ガソリン代	
	6.11.22	34,100	中央自動車	:	レンタカー代	
	6.11.20	13,980	福井マンテンホテル	:	宿泊料金	12,000円を計上

※ 「整理番号」については、出納簿の整理番号と一致させること。

※ 按分により政務活動費を充当した場合は、「備考」欄に、支払総額及び按分率を記載すること。

上記のとおり相違ないことを証明します。

7 年 4 月 8 日

議員名 原 田 純 子

政務活動費町外活動報告書

議員名： 原 田 純 子

整理 番号	活動概要		
1	日程	6年11月20日(水) ～ 6年11月21日(木)	1泊2日
	訪問先及び所在地【市区町村名まで記入】	福井県福井市 他	
	目的・内容・成果等(具体的に記入)		
	詳細及び所管については、別添のとおり		
整理 番号	活動概要		
	日程	年 月 日 () ～ 年 月 日 ()	泊 日
	訪問先及び所在地【市区町村名まで記入】		
	目的・内容・成果等(具体的に記入)		

令和6年10月21日

議員各位

政務調査行政視察 幹事 原田 直幸

政務調査行政視察について（連絡）

このことについて、下記のとおり政務調査による行政視察を計画しましたので、万障繰り合わせの上、ご参加ください。

記

- 1 日 時 令和6年11月20日(水)から11月21日(木)
- 2 参加者 加藤議長、今泉副議長、山口議員、金田議員、原田直議員、
原田純議員、村松純議員 7名
- 3 視察先 11月20日 福井市 足羽川ダム工事事務所及び現場
・足羽川ダムの概要、工事の進捗状況、地域振興策について
・足羽川ダム工事現場におけるコンクリート打設の状況等
11月21日 大野市 九頭竜川総合管理事務所及び真名川ダム
・九頭竜川ダムの管理運営について
・真名川ダムの水力発電事業について
- 4 行 程 別紙のとおり
- 5 宿 泊 福井マンテンホテル駅前 宿泊料 13,980円(夕食代込)
福井市中央1-11-1 ☎ 0776-20-0100
各自現地にて支払いをお願いします。
- 6 その他 足羽川ダム工事事務所
九頭竜川総合管理事務所
各事務所のHPを確認し、事前研究をお願いします。

議員研修（政務調査）行程表

第1日 11月20日（水曜日）

午前8時00分 設楽町役場 出発

・・・移動（新城IC・・・新東名高速・・・東名高速・・・名神高速・・・北陸道
武生IC・・・越前そばの里 昼食11:30～12:30）

午後1時30分 北陸地方整備局 足羽川ダム工事事務所 到着（福井市）

午後2時30分 足羽川ダム工事事務所 出発

・・・移動・・・

午後3時20分 足羽川ダム工事現場 到着

午後4時20分 足羽川ダム工事現場 出発

・・・移動・・・

午後5時10分 ホテル到着（福井市 駅前）

※ 福井マンテンホテル駅前

TEL 0776-20-100

部屋 シングルルーム（全室禁煙）喫煙ルームは1、2階に有り

第2日 11月21日（木曜日）

午前8時30分 ホテル 出発

・・・移動・・・

午前9時30分 北陸地方整備局 九頭竜川総合管理事務所 到着（大野市）

午前10時30分 九頭竜川総合管理事務所 出発

・・・移動・・・

午前11時00分 真名川ダム管理支所 到着

午前12時00分 真名川ダム管理支所 出発

・・・移動（九頭竜湖付近で昼食12:30～13:30・・・東海北陸道・・・
東海環状道藤岡IC）・・・

午後5時00分 設楽町役場 到着

移動 レンタカー（中央自動車・ベルファイア）

政務調査視察の所管

1. 足羽川ダム

・足羽川ダムの特徴は、普段は水を貯めないダムであり、洪水時等に水量を調節して流す流水型ダムである。現在、建設中のダムで設楽ダムと同じ重力式コンクリートダムであり、総貯水量は設楽ダムの三分の一の規模であるが、形状から推測して、設楽ダムの建設途上の様子が予測された。さらにダム本体工事に伴い、付け替え道路の整備が進んでいる。自然環境の保護・共生の観点から見れば、普段は水を貯めないダムであるため自然に近い環境を整えられる利点があり、クマタカに関しては営巣・繁殖活動に極力影響を与えないよう、繁殖期には工事を一時中断したりして、配慮をしている。設楽ダムにおいても同様の配慮を期待する。ダムを利用した地域振興では、サマーナイトツアー・autumn ナイトツアーなどが行われている。

1. 真名川ダム

・真名川ダムはアーチ式コンクリートダムで、有効貯水量が 9500 万 m³ で、規模としては設楽ダムとほぼ同じと言える。真名川ダムは洪水調節が主であるが、灌漑用水、農地用水などにも使われ、さらに発電事業も行っている。洪水期に次の洪水までの水を少し上げ、それを発電用に使うなどの弾力管理を行っている。さらに下流域に生息する魚類等々の環境保全の為にフラッシュ放流と言って、二次的に洪水を起して水質を出来るだけ保つよう努めている。ダムだけではなく、森林があり、川があってダムがあるというように考えているので、ダムだけを見ているのではなく、森林にも感謝をし、上流域の方々の生活が変わったことによって、下流域の方々の生活が守られていることもあるのでそれを知っていただく事、上下流の取り組みもしましょう。という所長さんの発言に、心を打たれるものがあった。基本にあるものはソフト面の愛情であると思うし、このような共生型、循環型の取り組みを望む。

九頭竜川流域で水の使い回しが行われているのも、豪雪地帯のプラスの要素であると感じられた。